

(別添2)

【川南町】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」(文部科学省・令和5年11月実施)の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」(文部科学省・令和6年4月)を満たしている学校は7校中1校であるが、現在のところ授業に大きな支障はきたしてはいない。(学校のNWの入口での計測結果により判断。)

今後、集約SW(L3SW)直下での有線での帯域測定や校内ネットワークの入口にあるルータのトラフィックのピーク値が当面の推奨帯域より大きいものであるかの確認を行う予定。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定スケジュール

令和5年度及び令和6年度に各学校の無線アクセスポイント、L2スイッチ、L3スイッチ、ルータについて、設定内容のセルフチェックを行った。

無線アクセスポイントについては、通常授業で使用するすべての教室に設置し、40台の端末が同時にアクセスしても安定動作する性能の高い機種を導入している。

ネットワーク機器については、全てGIGA対応の製品で整備している。GIGAスクール端末の導入に合わせて整備を行ったネットワーク構成図に基づき、通信のボトルネックとなる可能性のある箇所にはカテゴリ6AのLANケーブルを敷設し、ネットワーク負荷を分散する構成としている。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

一学年複数クラスの学校については、端末が同時接続する際も安定した通信環境が望ましい。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、すでに解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

一学年複数クラスの学校(小学校1校、中学校2校)については、教育専用帯域を確保したセッション数の制限のないIPv6プラスサービスのプロバイダーを令和8年度に導入する。